

市内循環ワンコインバス運行事業(福島県福島市)の概要

(平成13年10月～平成15年9月)

◇ 背景

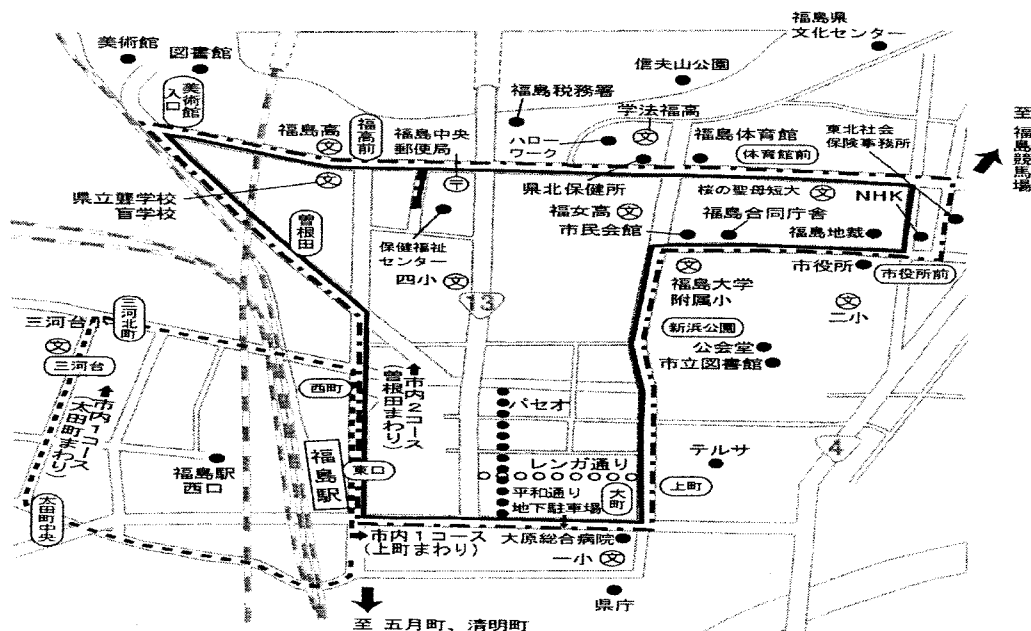
福島市では、福島駅を中心として放射状に伸びるバス路線となっており、また、中心部を国道4号及び13号が通っていることから、市街地から中心部にかけて交通渋滞が発生している。

このため、既存バス路線利用者や鉄道利用者の乗り換え利便性の向上をはかり、渋滞の緩和及び環境負荷軽減のため、マイカー通勤者の公共交通機関利用の転換を図る必要がある。

◇ 実験の概要

福島駅前から発着する既存バス路線の一部区間につき、均一運賃(大人100円, こども50円)で運行し、公共交通の利便性向上、道路交通の円滑化、並びに環境負荷の軽減等について検証を行う。

・運行主体 福島交通(株)、福島市



- 市内1コース(上町まわり)
- - - 市内1コース(太田町まわり)
- · - 市内2コース(曾根田まわり)

◇ 自動車交通調整策

- ・バスロケーションシステムの増設
- ・ノーマイカーデーの促進
- ・パークアンドバス(サイクル)ライドの促進

◇ 関係行政機関等によるTDM実験への支援

- ・東北運輸局・東北地方整備局・福島県警察本部

実験の成果

- 平成14年4月～9月の利用者は、実施前より3割増加しており、特に土日が増加している。
- 中心市街地への交通混雑は緩和されており、一定の効果がみられた。

実験後の状況

- 循環バスについては、実験終了後16年3月まで福島交通が単独で運行を継続。
- 16年度については、福島市の補助を受けて運行を継続。